

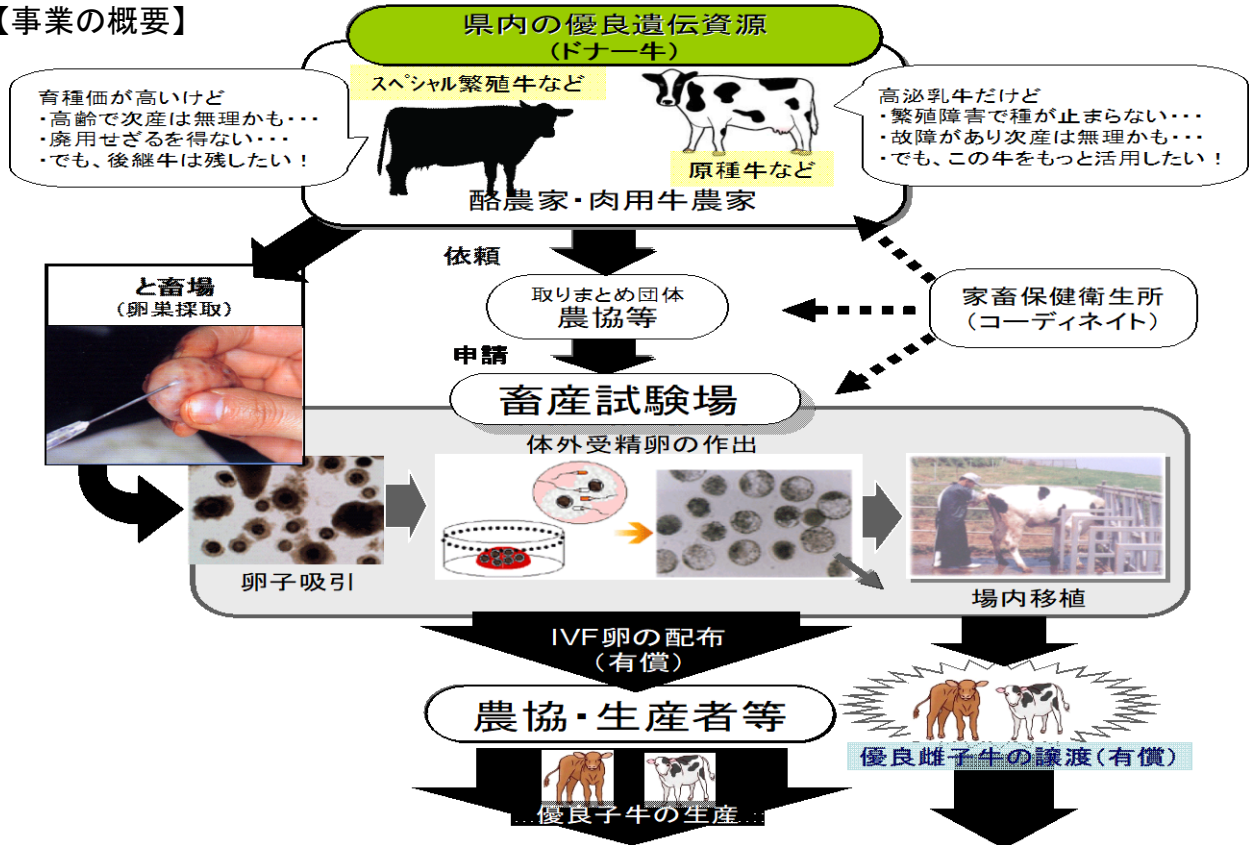
かほだより

廃用される高能力雌牛を有効活用！ 体外受精卵を作出し後代牛の生産を支援します！

高能力な乳用牛や繁殖雌牛を老齢や事故などで廃用を余儀なくされた際、「もったいない…」と思ったことはありませんか？

そこで、長野県では平成 30 年度から畜産試験場において、こうした廃用される高能力雌牛から体外受精卵を作出し、後代牛の生産に向けての取組を支援します。また、この受精卵を移植して生産された子牛が子牛登記の対象となるよう、事前にドナー牛の遺伝子検査や手続きなどについても協力・支援します。なお、作出された受精卵については有償配布となります(2万円/卵程度)。

【事業の概要】



酪農家・肉用牛農家の生産基盤の支援 ＜牛群改良の推進、後継牛の確保、増頭の支援＞

※体外受精卵は個体により作出できる個数は一定ではありません。
受精卵ができない場合もあります。

担当：保健衛生課

中信家畜畜産物衛生指導協会からのお知らせ

株式会社微生物化学研究所より、「京都微研キャトルウィン-5Hs」について、牛パラインフルエンザに対する有効性が認められない事例が確認されたことから、販売中止および自主回収を実施する旨の連絡がありました。

今後は代替品である「京都微研 牛5種混合生ワクチン」及び「京都微研 牛ヘモフィルスワクチン-C」での対応をお願い申し上げます。